

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4255
22年6月7日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

正社員登用試験応募開始 今年の採用予定数は微増

おはようございます。
長中局で新型コロナウイルスの感染者の報告が続いています。クラスターにならない為にも感染予防に努めましょう。

郵政ユニオン本部に対し、各社を代表して日本郵政より、期間雇用社員等から正社員(一般職)への採用(登用)について情報提供がありました。採用までのスケジュールは表の通りで例年と変わりはないようですが、最終合格通知の実施時期が12月下旬頃となっていて昨年より1カ月早くなっています。

選考方法は一次審査では国語、算数など基礎能力及び適性検査(Webテスト方式)で合否は適性試験の結果、勤務成績等を総合的に評価して決定するとなっています。

項目	実施時期
周知・応募開始	2022年6月3日(金)
応募締切	2022年7月5日(火)
一次審査(適性試験)	2022年9月2日(金)~9月14日(水)
一次審査合否通知	2022年10月下旬
二次審査(面接試験)	2022年10月中旬~11月下旬
最終合否通知	2022年12月下旬
正社員採用	2023年4月1日(土)

一次審査免除の条件として①過去2年間の正社員登用一次審査合格者
②過去2年間の受験者で直近2回のスキル評価がスキルA習熟度ありの者で、適正試験対策講座の受講状況、日々の業務遂行能力及び各社ごとの業務特性を踏まえた資格取得状況等を総合的に勘案し、会社が適当と認められた者となっています。

二次審査は面接試験で、最終的な合否は面接試験の結果、ビジョンレポートの内容、勤務成績等を

総合的に評価して決定するとなっています。

今年の採用予定数ですが、日本郵政グループ全体では昨年の採用予定数より増加していますが、わずかに400人弱です。日本郵便の郵便コースで300人、窓口コースで100人昨年より増加していて、ゆうちょ銀行は昨年と同じ採用予定数でかんぽ生命は昨年より10名減少しています。

正社員登用試験は以前と比べて合格率は高くなっているようですが、毎年3000人程度の採用では狭き門に変わりはありません。

また一般職の月々の給与はスキルAありよりも低いという話もよく耳にします。超勤の単価も下がりが、正社員になったものの生活が出来ず退職した社員もいます。



2022年度(2023年4月1日採用)採用予定数

	採用予定数
日本郵政(株)	若干名
日本郵便(株)	郵便コース 2600人程度
日本郵便(株)	窓口コース 400人程度
(株)ゆうちょ銀行	80人程度
(株)かんぽ生命	20人程度

正社員登用数の拡大は当然求めていかなければなりません。一般職の待遇改善も急務です。

メルカリ便 値上げ

物価上昇が続いている中、メルカリ便の配送サービス利用料金が6月1日より改定になります。メルカリ便とは匿名配送やあんしん配送補償などの配送サービスでヤマト運輸と連携した「らくらくメルカリ便」日本郵便と提携した「ゆうゆうメルカリ便」があります。



コンビニもなく郵便局しかない過疎地は別としてほとんどのユーザーは料金安いヤマト運輸の「らくらくメルカリ便」を利用するのではないのでしょうか？

料金改定以降の引き受け物数は注目です。

現在の両社の配送料を比較するとAサイズ、厚さ3センチの商品を送る場合、ヤマト運輸の「ネコポス」が175円、日本郵便の「ゆうパケット」が200円です。

6月16日以降は「ネコポス」が210円、「ゆうパケット」が230円になります。送料の差は5円縮まりますが引き受け増加に繋がるでしょうか？

逆に荷物を送る場合(60サイズ)は現在の料金は両社共に700円ですが改定後はヤマト運輸の「宅急便」が750円、「ゆうパック」は770円になります。

仲間に競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。
ゆげ、均等待遇、なごみの差別ー、ユニオンは労契法裁判に勝利を！

